

Nです	よ
Aです	
ANです	ね
Vます	

基 本

例 文

① A: × レストランの料理はおいしい
ですか。

B: はい、おいしいですよ。

② A: 新しいコンピュータを使いましたか。

B: いいえ。

A: 便利ですよ。

③ A: もうすぐ、バスが出ますよ。早く乗り
ましょう。

B: はい。

④ (レストランで)

A: サンドイッチとジュースを
ねが
お願いします。

B: サンドイッチとジュースですね。

⑤ A: これは田中さんのさいふですね。

B: いいえ、ちが
ちが
違いますよ。

⑥ A: これは日本の新聞ですね。

B: いいえ、ちゅうごく
ちゅうごく
中国の新聞ですよ。

解 説

A. 文の終わりにつく。(例文①～⑥)

B. 「よ」は、聞き手が知らない情報を提供するときに使う。(例文①②③⑤⑥)

C. 「ね」は、話し手の情報や認識が聞き手のと同じかどうか確認するときに使う。

(例文④⑤⑥)

例 文

⑦ A: あの店のドーナツはおいしいですね。

B: そうですね。

⑧ A: おもしろい映画でしたね。

B: ほんとうにおもしろい映画でしたね。

解 説

D. 「ね」は、話し手が聞き手に同意したり、聞き手の同意を求めたりするときに使う。(例文⑦⑧)

先生へ

「よ」「ね」は助詞。

【関連項目】

助-04 か(疑問)

【「れんしゅう編」の練習】

- 3-3 ハンバーガーを食べます
- 3-4 ハンバーガーの店
- 3-8 どんな店ですか
- 5-4 おいしかったですよ